

先生に聞きました!

じしん たいけんたん  
地震の体験談

これは2011年3月11日の東<sup>ひがしにほんだいしんさい</sup>日本大震災について

アティスの先生にインタビューをして、

まとめたものです。

## 中級Bクラス

インタビュー日時：2017年5月30日（火）

発行：2017年6月16日（金）

# おおじしん お 大地震が起こったら、あなたは どうしますか？

がくせい 学生のみなさんは、おおじしん お 大地震が起こったら、どうしますか？

どうすればいいか、わかりますか？

2011年3月11日「東日本大震災」を経験したアティスの先生に地震についてインタビューしました。みなさん、この体験談を読んで、大地震について知ってください。

## — 目次 —

1. とうきょう ねん がつ じしん あきやませんせい … 3  
東京の2011年3月の地震（秋山先生）

インタビューアー： クエン、ダット、チャイ

2. じぶん まも じむ … 5  
自分を守る（事務のダットさん）

インタビューアー： タオ、タルカ、トゥ

3. じしん ちゅうい おぎくらこうちょうせんせい … 7  
地震の注意（麦倉校長先生）

インタビューアー： レーイ、ナム、ガ

4. さいがい あわ おぎくらこうちょうせんせい … 9  
災害の時は、慌てないでください（麦倉校長先生）

インタビューアー： グエン、ノウニ

5. がっこう じしん たいへん おおつかせんせい … 11  
学校で地震—大変だ！（大塚先生）

インタビューアー： ガン、ホアン、アイエッシ

6. じしん きくちせんせい … 15  
2011の地震（菊地先生）

インタビューアー： ツン、ズン、ブッディカ

7. じしん ひがい いせせんせい … 17  
地震の被害（伊勢先生）

インタビューアー： トウエット、イエン、マン

8. 特別な日（まきはらせんせい） … 19  
特別な日（牧原先生）

インタビューアー： カン、フン、ユウーン

グループ( ケン、ダット、チャイ )

◆ 秋山 先生の体験談

タイトル「東京の2011年3月の地震」

秋山先生は、その日新橋で働いていたそうです。

地震が起こった時はパソコンを打っていたと話していました。

まず、弱く揺れたので、地震があるかなあ?と思っただけです。

それから、強く揺れることになったので、すぐにテーブルの下に入ったと話していました。会社から地震についてお知らせがあっ

たから、みんなは避難所に急いで移動していたそうです。地震が起こった時は、8皆で働いていたのですが、エレベータが

使えないので、階段で並びながら逃げたようです。会社の避難所は1階です。みんなは1階に集まってから、会社の休みのお知らせを聞いていたと話していました。みんなは早く帰ることにしたと言いました。

電車が動かないので、先生は2時間ぐらいうちへ歩いて帰ったそうで

とても疲れたと言いました。地震のあと、会社に電車で出勤できることになりました。会社で仕事の書類が落ちて、引き出しがあ

開いたままでした。1週間ぐらいあと、小さい地震がたくさんあったそうです。みんな

はスーパーへ買いに行きましたが、何も売っていません。生活が大変になったそうです。

先生の経験によって、地震が起こる時、ATYSの学生は

自分を守ることにしてください、困っている人を手伝ってくださいと

言いました。家族が心配するはずなので、連絡を忘れないでとアドバイスしてくれました。

先生の体験談を聞いていた時、避難のし方にびっくりしました。今、地震が起こった時、私は避難のし方が分かるようになったので、私は自分が守ってから、困っている人を手伝えると思います。(ケン)



大きい地震のとき多くの人になくなって、生活が大変だから私は地震がなければ、生活がよくなると思いました。

(チャイ)



地震が起こった時何でも大変になりました。人がたくさん死にました。

地震が起こったあと、皆の生活はとても大変になりました。秋

山先生は地震の経験を私に教えてくださいました。私の経験で

地震の防ぎ方がよくなると思いました。



(ダット)

グループ(タオ-タルカートウ)

◆ ダットさん 先生の体験談

タイトル「自分を守る」

ダットさんは、その日、宇都宮市にある古い学校で学生として勉強して

いたそうです。地震が起きた時は、二のビルが強く揺れたので、とても

怖かったそうです。それで、学生の皆さんは、テーブルの下に潜りました。そして、

まど窓ガラスがガガッガガッと揺れて、停電になったそうです。心配ばかりで何も

できないと思ったそうです。あとで、余震は5分につき1回ありました。そして、

階段で逃げて、外に出て安全な場所に逃げたそうです。

地震のあと、何もできなかったそうです。電気とガスと水もありましたが

レストランで無料のバトを使いました。その日、寒くなって、とても大変だった

そうです。ダットさんは「日本で住んでいるから地震がある時、いつあるか

わからないで、ほうき、ガス、準備してください。地震のあと、  
情報を聞いてください」と話してくれました。

ダットさんの体験談を聞いて、怖かったです。地震の時、ダットさんは  
ケガがなかったの、よかったと思います。防災の経験を教えて貰った  
ので、もし今度地震があれば、私は自分を守るつもりです。ダットさんに  
「ありがとうございました」といっています。(タ)

ダットさんの体験談を聞いて、とてもよかったです。  
もっとびっくりしたので、自分でぼうしの代わりに帽子を履くすれば、  
こたくなると思います。「タ」

私は地震の経験がなかったけど、ダットさんの話を聞いて、あとで  
本当に地震があった時の気持ちを思い出しました。たぶん私はその日、昼に  
いたら、ダットさんと同じように、こたくなると思います。この話を聞いたとき、私も  
びっくりしました。おは、たいてい、たいてい、思いました。「タルカ」

グループ(レーイ, ナム, ガ)

◆ 校長 先生の体験談

タイトル「地震の注意」

校長先生はその日、旧校舎で働いていたようです。地震が起こった時は旧校舎の4階で文法を教えていたようです。こんな大きな地震が起こるの信じられないのでびっくりしました。それで校長先生が学生に心配はないと言って大切な物を持って1階の広い場所に集まって、学生の名前を確認してその後みんなでコンビニで食品を買っておきなさいと指導して休校にしたようです。その後学校のカベなどを調べてひびが入った所の写真を取ったようです。

校長先生は家へ帰った時、カギがロックしたり、キッチンを掃除したり「例えばお皿とか冷蔵庫とか食器を集めました。」終わった後壊れた物を調べて見たようです。校長先生の家では一部の食器しか壊れていなかったです。そしてテレビを見たり、ラジオを聞いたりして心配になりました。校長先生は外国人にパスポートと保険証とか在留カードとかお金は大切な物だと言いました。自分の物を必ず持って下さい。

コミュニケーションのために自分の名前を証明する物をカバンの中に入れておくことなどを話してくださいました。

私は校長先生の話を聞いて、夕日に地震が起こったことがないですけど、怖うだと思いました。その日にもし私がいたら、気が動転したと思います。なせならなにをしなければならぬか思い出せないし腰を抜かすと思います。

(レーイ)

♡!!! 校長先生は地震の時こおくてびっくりしたと思います。本当に皆さんは準備ができていた、たくさん物かこおられた全部が直りましたけど皆さんはびっくりしました。

私はうれしくもちになりました。!!! (ナム)

★★★ 校長先生の話を聞いて、とても心配だと思いました。日本で大きな地震があるので、こわくなりました。ベトナムでは少ししかないのでこわくないと思います。大きな地震が起こった時みんなに予防方法をおしえたいと思います。一番大切なことは防災グッズを準備することです。★★★ 「ナム」???

グループ( ケン , ノウニ )

◆ 校長 たいけんだん 先生の体験談

タイトル「災害の時は、慌てないでください」

校長先生は地震があった際、旧校舎の四階で授業だったそうです。校長先生たちは学生と一緒に一階に降り、駐車場に集まった。地震が止まって学生が全部帰った後で、校長先生は自転車を押して、部屋へ帰ったそうです。部屋へ帰る途中でいろいろな建物が倒れていたそうです。でも校長先生の部屋は大丈夫でした。それで、安心したそうです。

地震の後の日は学校へ来て、電気をチェックして全部電気を消したそうです。その日は週末ですが、学校は休みだったそうです。校長先生の部屋には電気がありませんからろうそくを使ったそうです。電気がないから冷蔵庫の食べ物も古くなったそうです。

校長先生の気持ちはいろいろなことを心配したそうです。

校長先生は後で食べ物や水や生活をどうしたらいいか、考えたそうです。

地震のあと一ヶ月ぐらいは春休みだから、学生は休みだったそうです。でも教師は働いていたそうです。学校の壁はひびきがあった。

写真を撮りました。その後で修理するつもりだったそうです。

このように、地震が大変なので、災害があったら自分でコミュニケーションを取って、いつも自分を証明できるようにしなければなりません。ですから、留学生は日本語をきちんと勉強しなければならぬという事は大切です。この事は校長先生からアテスの学生へのメッセージです。

♥ 校長先生にインタビューをした後で、日本に地震があったら、何を  
するほうがいいか、分りました。それに、どんな状況の中でも慌てない。  
最後に、言語は大切です。日本語をきちんと勉強しなければ  
ならないと思っています。

みなさん、一緒に勉強しましょう。☆☆ 国

(ケン)

地震があるとき校長先生の自分を守る意識がある

もし私は地震があったら最初は何をしていいかわかりません。

今回のインタビューは本当に考える甲斐があります。

(ノウニ)

グループ( ガン - ホマン - アイッシ

◆ おおつか <sup>たいけんたん</sup> 先生の体験談

タイトル「学校で地震 - 大変だ！」

2011年3月に日本で地震が起りました。その時、宇都宮の子供の学校で仕事をしていた。子供と一緒に帰る準備をしていました。

地震があった時、すぐ教室の物やロッカーに子供たちをおられました。それで、子供を集めました。先生は学校がこわれるかもしれないと思っていました。

その後、子供の安全のために、おおつか先生は子供の両親と電話しました。なぜなら心配なので、両親が子供を迎えに来してほしいと思っただけです。でも、なんかいまだに電話しても連絡できなかった。揺れが終

Ah 大丈夫だったの？、ほんとに安心したそうです。地震のせいで、一ヶ月間、学校が休みになりました。でも先生たち、新学期のために、ちゃんと学校を片づけなければなりませんでした。

地震の前と後にいろいろなことがわかりました。例えば、カッソンがなくなるとほらちからみんなは車に乗ると、自転車に乗るしかない。地震がおきた時のために準備しておくことは必要です。必要な物を買ったり、長時間おいておく食べ物を買います。なぜなら、地震の時、店が閉まって、不便です。そのことをおおつか先生がおまめくたはるのは役に立ちます。

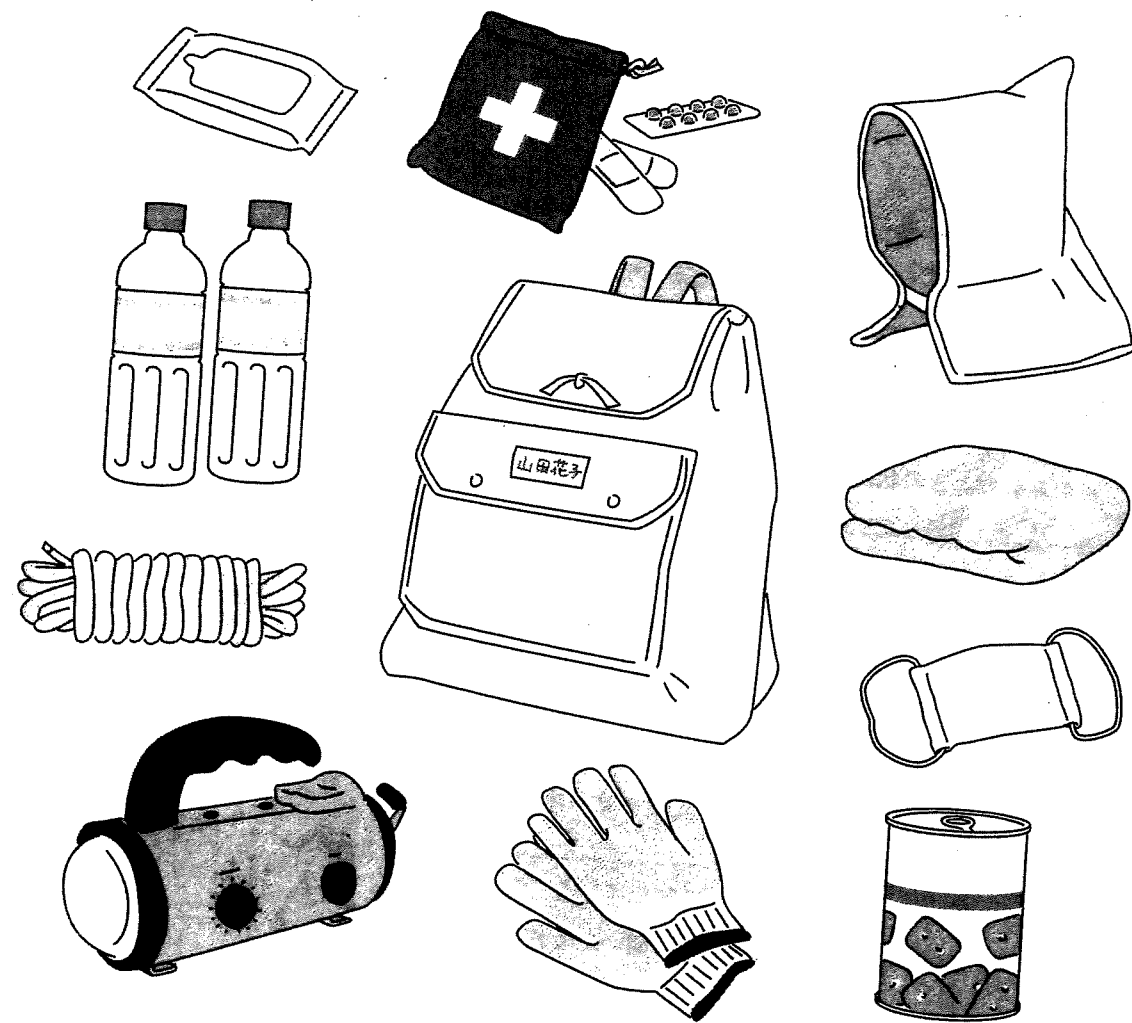
緊張になりました。でも、先生はやさしいから、安心しました。インタビュー-するから、ぜひ私たちの質問を答えください。ほんとにうれいんです。ほんとに地震があった時、私は心配ですが、準備しておくので、安心だと思えます。(ガン)。



。国で地震が起きたとしても地震は  
おこる。

先生と話したら、おこるかもしれないので、  
安心と思ておきました。「オアソ」

。地震があったときの先生の話を聞いて  
びっくりした。私は留学生ながら日本で地震が  
おこると思います。2011年3月に日本で  
地震がおこりましたので心配しています。「アイツ」



ぼうさい  
防災グッズ



グループ(

ズン、ツン、ブツブツ

◆ きくち <sup>たいけんたん</sup>先生の体験談

タイトル「2011の地震」

その日きくち先生は宇都宮市で車を運転していたので、地震があつた時、とてもびっくりしたそうです。大きい地震があつたので、全部建物やビルとか車が壊れてしまいましたから、怖かつたそうです。宇都宮駅の東の川の方で県民は電気や水やガス三日ぐらひなくなりました。とても大変でした。その地震が終つても地震が来るかもしれないので、怖かつたそうです。皆んなは資産がなくなつた。例えば家とかお金もなくなりました。政府の軍が来て、鎗や水や布団なども持って来ました。県民を助けてあげました。きくち先生もお金を寄付しました。地震の1月後、もう1回大きい震が起つて来ました。だからきくち先生は地震が起つたところにいたくないと思つたそうです。

私の国では地震がないし、日本に来てからも大きい地震にあつたことはありません。2011年の地震が凄いのので、とても怖いと思つました。その時日本はまだ来ないので、よかった。^^!!...(ツン)

きくち先生の体験談は、私にとって貴重だと思つた。なぜなら地震は人の利益を害する。例えば、電気や水やガスがなくなると、自然を守ることも大切だ。(ズン)

スリランカでじしんがたつたのは、私にきつた。でもにほんでじしんがあつたときとてもこわくなりました。きくち先生のじしんの話はきいてみてよくわかりました。(ブツブツ)

グループ( トウエツト; イェン; マン )

◆ 伊勢 先生の体験談

タイトル「地震の被害」

地震の時は伊勢先生は友達とながさき州に旅行に行きました。地震の時は先生は全然分からなかつたんです。地震の事をインターネットとテレビを見ました。先生はとても心配しました。先生は家族に電話を掛けてもできなかったんです。テレビを見るのができました。その日先生は飛行機で帰る予定でしたが地震なので飛行機が止まって電車も全部止まりました。だから先生はホテルに泊まりました。次の日は宝都宮へ帰りました。でも道路が壊れていました。一か月間は三時間くらい電気と電車何でも止まりました。コンビニのパンと水も何もありません。先生の家は米を作っているのでも米と野菜と水がありました。

私の感想は地震があった時不便で大変だと思います。地震はこわくて心配に感じます。いつも食べ物と飲み物と荷物を準備しておき、みんなは地震でびっくりしなように予防してください。

<エ>

わたしの感想は地震があった時じつは怖いと思います。

地震があった時みんなはびっくりして心配しました。

いつも食べ物と飲み物とかを準備しておいてください。

地震はみんなの命がある時みんなはこわくて怖いです。

地震があったら何もなくて困るととても怖いです。

マシ

伊勢先生の体験談を聞いた時は私は本当にびっくりしました。日本の2011年の3月の地震は色々な被害を与えました。ベトナムで地震は全然お金の先生に聞いた時はびっくりしました。今から食べ物と飲み物と水を準備しておこうと思います。

💖💖 伊勢先生 💖💖

グループ(カン; フン; ユーソン)

◆ 牧原

先生の体験談

タイトル「特別な日」

牧原先生はその日川崎市に住んでいたそうです。  
 地震が起こった時は2歳の子供といっしょにいたそうです。  
 地震が起こった時子供も泣きました。「キョー、キョー」と  
 先生は話していました。それでテレビでニュースをずっと見ていたそうです。  
 「津波がある」と思ったそうです。地震が終ってから、30分  
 ぐらいでテレビで津波の映像が流れていました。びっくりしたそうです。  
 次の日からいつも2時間ぐらい停電に悩んだそうです。電気の  
 料金を少なく使っていたそうです。地震のあとは生活が大  
 変に悩んだそうです。牧原先生は地震があると生活が大変  
 になると話していました。地震とまではいけませんが、先生に連絡  
 してくれたいと先生と話していました。

地震はとても怖かったです。食べ物がない、電気  
 もない。こわくて心配になります。先生と話すといろい  
 ろな経験がわかるので地震が起る時防ぎ方をしりました。

(カン)

先生と話すといい経験がわかるので。地震が起る時  
 防ぐ方法があるので。生活はもっと安心だと思いは。 (フン)

牧原先生と話したあとで私がおもくなりました。  
 地震が起る時の防ぎ方をしりましたので安心しました。

(ユーソン)